

明けましておめでとうございます。

私達は、昨年末の学友会三役選挙で学友の皆さんに信認され、来年度の学友会正副会長を行なうことになった、志摩利希、竹内三雄、福島宏政です。新年とともに私達新三役が動き出すにあたって、当面1月中には是非実現しなければならぬこととして村田理事長退陣の問題があります。

皆さん、すでに御承知のとおり、今だに多友美には学長がいません。それはもちろん理事長が4月以来、評議員会を開いて学長候補の真下信一氏を承認するという義務をおこなっているためです。学長不在のため、卒業生の卒業証書をはじめ学長の印のいる書類はすべて、法的に公文書擬造になってしまいます。また今年3月に評議員と理事会のメンバーの改選がありますがその任命権を理事長が持っているため、その時まで村田晴彦が理事長を続けているとしたら、多友美のいそぎのファッション化ははかられ、私達の勉学生活の発展は到底望めません。この点から見て、この1月いっぱいには、村田理事長の退陣は必要です。

そのためには、昨年12月5日の上野毛抗議行動に見られた、私達学生の団結をなおいそぎ強め、もっとたくさんの学友の参加がほしいと思います。そうすることによってこそ、村田理事長退陣は実現すると思います。また文連・体連と連絡を取り、すべての代議員を結集して、常任委員会を作ることが団結の基礎となると思いますので、それを即急に行いたいと思います。

こういった運営の正常化をはかる一方、長期的展望に立ち、研究・創作活動(各科の交流、学内展示)ゼミ、シンポジウム、映画の上映、他美大との交流、スポーツ大会等を積極的に開催し、学術・文化の面でも、学友会の活動を充実させるよう、皆さんとともにがんばっていききたいと思います。

学友会・新三役 1月6日